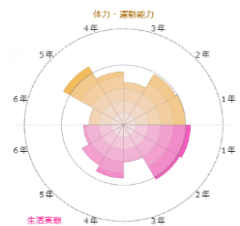


健やかな体の育成プラン

重点取組分野	具体的取組
健康教育	①新型コロナウイルス感染状況を十分配慮しながら「一校一実践」(大縄、ペース走等)を取り入れ、体を動かす活動に取り組む。 ②学校保健委員会のテーマにもとづき、健康づくりに取り組んでいく。 ③食育教育全体計画に基づき、食の大切さを通して健康教育を推進する。
担当	体育部 保健部

健やかな体に関わる本校の状況	今年度の目標
----------------	--------

(1) 健やかな体に関わる児童の実態
 ○横浜市学力・学習状況調査の生活実態調査では、「体を動かすことはすき」な児童の割合が高いが、「どちらかといえばきらい」「きらい」な児童が一定数いる。また、学年が上がるにつれて、ゲームやスマホ、パソコンを長時間視聴している児童の割合が増えている。



○横浜市体力・運動能力調査では、全学年を通して、立ち幅跳びの得点が低い。また、中学年から低学年にかけて、長座体前屈の得点が低い。
 ○反対に、50m走と上体起こしは横浜市の平均より超えている。

(2) これまでの学校の取組状況
 ○体育科では、友達との関わりを大切に授業を実施してきた。
 ○(コロナ前は)朝体育として、朝の学習の一環で児童が運動を身近に感じられるような活動を行ってきた。
 例) 1学期・・・ラジオ体操、リズムステップ
 2学期・・・長縄
 3学期・・・持久走
 ○スポーツフェスティバルでは、委員会単位で仕事を割り振り、体育科の授業の中で培った資質・能力をさらに発展させ、学習したことの発表の場として位置づけられるようにしてきた。

①体育学習やささまざまな運動体験活動を通して、運動の楽しさに触れ、自分からすすんで運動する子どもの育成を目指す。
 ②休み時間に校庭で遊ぶ児童の数を増やし、スポーツを通してのコミュニケーションの促進を図る。

目標を実現するための具体的行動プラン

上半期

○課題解決に向けた具体的な実践につなげられるようにするために、横浜市体力・運動能力調査や健康診断の結果を一人ひとりの児童が振り返る時間を設定する。
 ○体育科の学習では、自分の思いや考えを表現できる力を育成するために、学習カードに自分の考えをまとめられるようにしたり、それをもとにお互いにアドバイスし合ったりできるようにする。
 ○楽しみながら自分の成長が実感できるように、月に1度全校で簡単に取り組めるようなイベントを設け、スポーツを通してコミュニケーションの推進と主体的に運動に取り組む活動を取り入れる。
 1学期: 短縄
 2学期: 長縄
 ○学校保健委員会のテーマにもとづき、健康づくりに取り組んでいく。

下半期

○上半期と同様、課題解決に向けた具体的な実践につなげられるようにするために、横浜市体力・運動能力調査や健康診断の結果を一人ひとりの児童が振り返る時間を設定する。
 ○スポーツフェスティバルでは、体育科の授業の中で培った資質・能力をさらに発展させ、学習したことの発表の場として位置づける。
 ○楽しみながら自分の成長が実感できるように、月に1度全校で簡単に取り組めるようなイベントを設け、スポーツを通してコミュニケーションの推進と主体的に運動に取り組む活動を取り入れる。
 2学期: 長縄
 3学期: ペース走
 ○学校保健委員会のテーマにもとづき、健康づくりに取り組んでいく。